

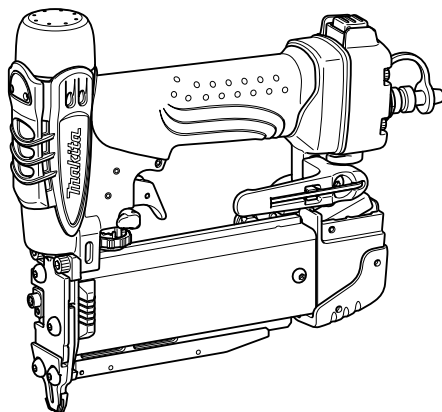
Makita

ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

取扱説明書

高圧ピンタッカ

モデル AF501HP



このたびは**高圧ピンタッカ**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



目次

・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	4
・ 各部の名称および標準付属品	7
・ 別販売品のご紹介	8
・ 使い方	10
・ ご使用前の確認	10
・ コンプレッサの選定について	11
・ エアホースの選定について	11
・ コンプレッサ・エアホースの保管・点検	11
・ ピンネイルの装てんについて	12
・ 空打ち防止機構について	13
・ 打ち込み深さ調整について	13
・ トリガロックの操作方法	14
・ フックについて	15
・ ノーズアダプタの使い方	15
・ ノーズアダプタの取り付け方法	16
・ ノーズアダプタの保管	16
・ エアホースの接続	17
・ エアダスタの使い方	18
・ 打ち込み方法	19
・ ピンネイル詰まりの直し方	20
・ 保守・点検について	21
・ 本機のお手入れ	22
・ ご修理の際は	22

主要機能

モデル	AF501HP
主要機能	
使用空気圧力	0.98 ~ 2.26MPa (10 ~ 23kgf/cm ²)
使用ピンネイル	15 ~ 50mm
ピンネイル装てん数	100本 (1連)
質量	1.1kg
本機寸法	長さ 240mm × 幅 64mm × 高さ 207mm
使用ホース内径	高圧用エアホース φ5.0mm 以上

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の **⚠ 警告** ・ **⚠ 注意** ・ **注** の意味について

ご使用上の注意事項は **⚠ 警告** と **⚠ 注意** ・ **注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠ 警告

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠ 注意

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、**⚠ 注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

： 製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

安全上のご注意

JPB186-4

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ・ 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

⚠ 警告

1. ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。
 - ・ 本機の取扱知識が不十分な場合、事故の原因になります。
2. 次のときは、本機を使用しないでください。
 - ・ 事故の原因になります。
 - 疲れているとき、身体が不調なとき。
 - 酒類や薬物を飲んで正常な操作ができないとき。
3. 保護メガネ、耳栓を装着し、また作業環境に応じてヘルメットなども着用してピンネイル打ち作業をしてください。
 - ・ 装着しないと打ち損じのピンネイルやピンネイルの連結片で目などにけがをしたり、排気音で耳を傷める原因になります。
4. 揮発性可燃物（ガソリン・シンナーなど）の近くでは使用しないでください。
 - ・ ピンネイルを打ち込むときの火花で火災を起こす恐れがあります。
5. ピンネイル打ち作業以外の用途には使用しないでください。
 - ・ 事故の原因になります。
6. 本機に刻印や溶接等の改造をしないでください。
 - ・ 外枠が破損し、けがの原因になります。
7. 動力源は圧縮空気を使用してください。
 - ・ 圧縮空気以外のガス（プロパン、アセチレン、酸素など）を用いると爆発する恐れがあります。
8. 圧縮空気の圧力は0.98～2.26 MPa（10～23 kgf/cm²）の範囲内で使用してください。
 - ・ 高過ぎる圧力は、本機損傷による事故の原因になります。
9. 安全装置が正常に作動するか確認してからご使用ください。
 - ・ 安全装置に異常があると、事故の原因になります。
10. 足場を使って作業する場合、常に足場をしっかりとらせ、バランスが保てる姿勢で作業してください。
 - ・ 足場が不安定だと事故の原因になります。
11. 屋根などで作業をするときは、前進しながら打つようにしてください。
 - ・ 後退しながら打つと足を踏みはずし、事故の原因になります。
12. 近くに人がいないことを確認してから作業を始めてください。
 - ・ 打ち損じのピンネイルやピンネイルの連結片などがあたりけがをする原因となります。

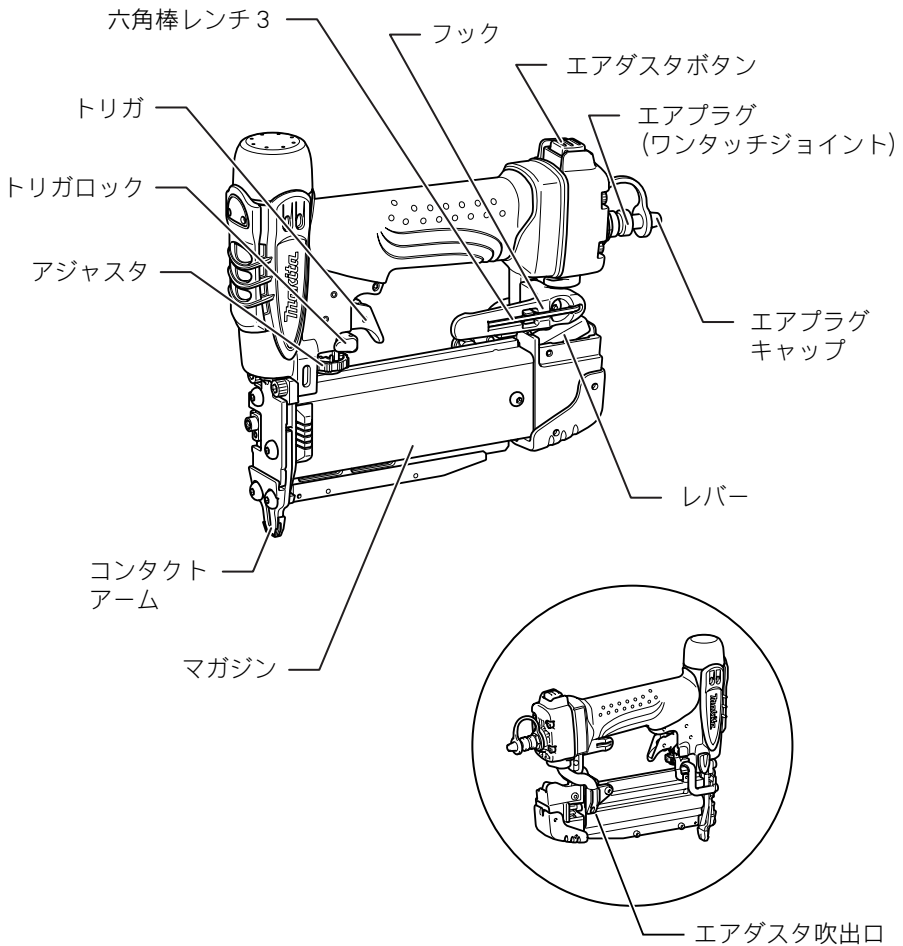
⚠ 警告

13. 壁の内、外側からの同時作業はしないでください。
 - ・ ピンネイルが突き抜けたりそれたりしたとき、事故の原因になります。
14. 高所での作業のときは、ホースの固定箇所を設けてください。
 - ・ 不意に引っ張られたり、引っかかったりしたとき、事故の原因になります。
15. 射出口やエアダスタ吹出口を人に向けたり、手足を射出口や吹出口付近に近づけたりしないでください。
 - ・ 誤って発射した場合に事故の原因になります。
16. トリガに指をかけたまま持ち運んだり、手渡しなどをしないでください。
 - ・ 誤って発射した場合に事故の原因になります。
17. エアホースをつなぐときは、トリガに指をかけないでください。
 - ・ 誤って発射された場合に事故の原因になります。
18. 次の場合は、トリガをロックしエアホースを本機からはずしてください。
 - ・ 誤って本機が作動すると事故の原因になります。
 - 修理する場合。
 - ピンネイルを装てんする場合、また取り出す場合。
 - 作業中、本機を持って移動する場合。

⚠ 注意

1. 裾や袖の締まりのよい服装をしてください。
 - ・ 袖口や裾の開いた衣服などで作業しますと、事故の原因になります。
2. 作業場は、いつも明るくきれいにしてください。
 - ・ 暗かったり、ちらかったところでの作業は事故の原因になります。
3. 使用前に、部品が損傷していないか、ボルトがゆるんでいないかを点検してください。
 - ・ 不完全な本機を使用すると、事故の原因になります。
4. 作業する箇所に電線管やガス管などの埋設物がないことを確かめてください。
 - ・ 埋設物を損傷すると感電やガス漏れ事故の原因になります。
5. 射出口を確実に材料に当ててください。
 - ・ 確実に当てていないと、ピンネイルがはね返り、事故の原因になります。
6. 作業中は、本機に顔などを近づけないでください。
 - ・ 釘の上や木の節などに当たった場合、本機が大きく反動し、けがをする原因になります。
7. 作業中に本機の調子が悪くなったり、異常に気づいた場合には、ただちに使用を中止してください。
 - ・ そのまま使用していると事故の原因になります。
8. 本機及びコンプレッサは、空気充てんのまま長時間直射日光に当てて放置しないでください。
 - ・ タンク内および本機内の高圧の空気がさらに高圧になり、事故の原因になります。
9. 本機の握り部は常に乾かしてきれいな状態を保ってください。
 - ・ 握り部が滑りやすいとけがの原因になります。
10. いつも安全に能率よくご使用いただくために、定期点検をおすすめします。点検修理は、お買い上げの販売店またはお近くの当社営業所にお申し付けください。
 - ・ 修理の知識や技術のない人が修理しますと、事故の原因となります。

各部の名称および標準付属品

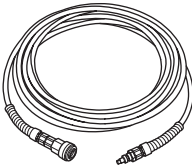


標準付属品

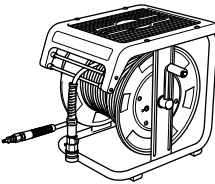
- ・ ノーズアダプタ (2 個)
- ・ 油サシ (タービン油 JIS2 種 ISO VG32)
- ・ セーフティゴーグル (保護メガネ)
- ・ 六角棒レンチ 3 (本機取付)
- ・ プラスチックケース

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げ販売店もしくは、当社営業所へお問い合わせください。
- ・ 高圧スリックホース
10m 巻 部品番号 A-46280
20m 巻 部品番号 A-46296
30m 巻 部品番号 A-46305



- ・ 高圧タフリール (本体のみ)
部品番号 A-49242
- ・ 高圧タフリール 30M
部品番号 A-49220

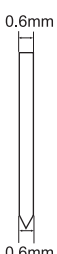


- ・ スプレーオイル
部品番号 A-46121



別販売品のご紹介

・ ピンネイル

種類	材質	長さ (mm)	色	型式	小箱		大箱 (小箱入数)	
					部品番号	入数		
	鉄	15	無地	S6-15	F-01369	20000 本	24 箱	
		18		S6-18	F-01372			
				P18	F-00013			
			白	P18 シロ	F-01758			
			茶	P18 チャ	F-01761			
			薄茶	P18 ウスチャ	F-01787			
			ベージュ	P18 ベージュ	F-01774			
		25	無地	S6-25	F-01398	20000 本	3000 本	10 箱 × 2 箱
				P25	F-00026			
			白	P25 シロ	F-01790			
			茶	P25 チャ	F-00039			
			薄茶	P25 ウスチャ	F-01806			
			ベージュ	P25 ベージュ	F-00042			
		30	無地	P30	F-01819	3000 本	10 箱 × 2 箱	
			白	P30 シロ	F-01822			
			茶	P30 チャ	F-01835			
			薄茶	P30 ウスチャ	F-01851			
			ベージュ	P30 ベージュ	F-01848			
		35	無地	P35	F-00055	3000 本	10 箱 × 2 箱	
			白	P35 シロ	F-01864			
			茶	P35 チャ	F-00068			
			薄茶	P35 ウスチャ	F-01877			
			ベージュ	P35 ベージュ	F-00071			
		45	無地	P45	F-02088	3000 本	10 箱 × 2 箱	
			白	P45 シロ	F-02091			
			茶	P45 チャ	F-02107			
			薄茶	P45 ウスチャ	F-02110			
			ベージュ	P45 ベージュ	F-02123			
		50	無地	P50	F-02136	3000 本	10 箱 × 2 箱	
			白	P50 シロ	F-02149			
			茶	P50 チャ	F-02152			
			薄茶	P50 ウスチャ	F-02165			
			ベージュ	P50 ベージュ	F-02178			
		ステンレス	18	無地	P18S	F-01880	3000 本	10 箱 × 2 箱
				無地	P25S	F-00084		
			25	茶	P25S チャ	F-00097		
				ベージュ	P25S ベージュ	F-00103		
			30	無地	P30S	F-01893		
			35	無地	P35S	F-00116		
				茶	P35S チャ	F-00129		
				ベージュ	P35S ベージュ	F-00312		

使い方

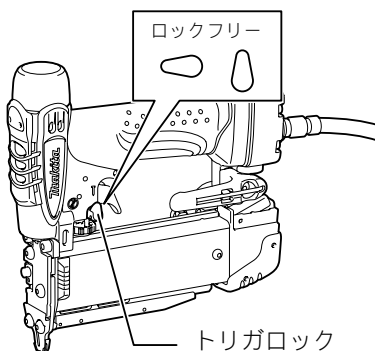
ご使用前の確認

⚠ 警告

安全装置に異常がある場合は使用しないでください。

- ・ そのまま使用すると事故の原因になります。異常があるときはお買い上げの販売店または裏面掲載の当社営業所にお申し付けください。

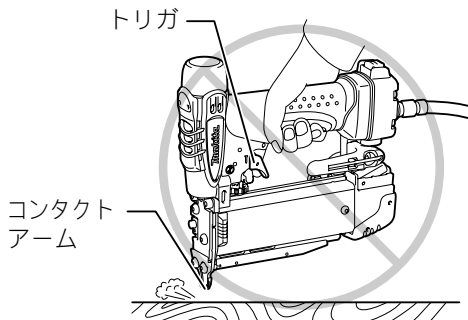
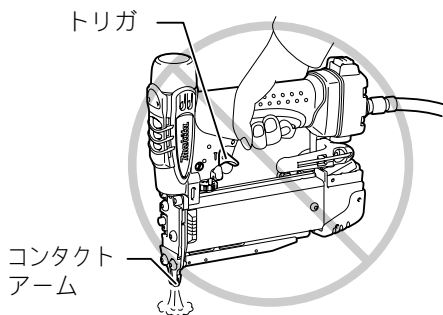
- ・ 本機はトリガとコンタクトアームの両方を作動させないと釘が発射されない構造になっています。釘を打つ作業に入る前に安全装置に異常がないかを下記の手順で確認してください。



1. 作業にはいる前に本機に釘が装てんされていないことを確認してください。
2. 本機にエアホースを接続します。
3. トリガロックをフリー (⇐) の位置にセットしてください。(P 14 参照)
4. マガジンのスライドドアを手前に引いてください。
5. トリガだけを引いてください。
6. トリガから指を離しコンタクトアームを材料に押し当ててください。
7. 材料からコンタクトアームを離し、トリガを引いたあとコンタクトアームを材料に押し当ててください。
8. 上記 5 ~ 7 の操作のいずれかで本機が作動する場合は安全装置が異常です。

異常例

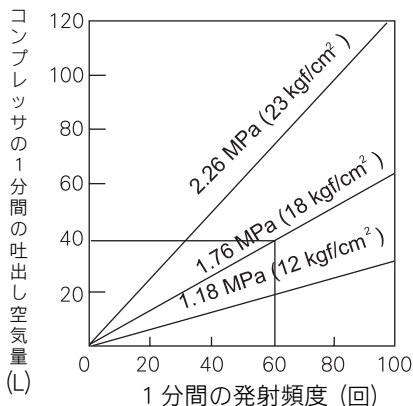
- ・ トリガだけを引いて作動する場合
- ・ トリガから指を離し、コンタクトアームを押し当てると作動する場合



使い方

コンプレッサの選定について

- ・ 本機を能率よく使用されるために、コンプレッサの最高圧力と吐出し空気量は余裕のあるものを使用してください。コンプレッサを選定される時は図を参考にしてください。
- ・ 図は本機での発射頻度、使用圧力とコンプレッサの吐出し量の関係を示します。たとえば、使用圧力が 1.76 MPa(18 kgf/cm²) で発射頻度が 1 分間に約 60 回ですと、吐出し空気量 40L/min 以上のコンプレッサが必要です。



エアホースの選定について

⚠ 警告

本機は使用圧力を一般圧のピンタッカより高く設定しています。高圧用のエアホースを使用してください。

- ・ 連続作業を効率よく行うためにエアホースは太く短い物を使用してください。
- ※ 内径 5mm 以上、長さ 30m 以下のエアホースを使用する事を目安に選定してください。

注

- ・ ピンネイルの発射頻度にくらべエアコンプレッサの吐出し量が少ない場合や、エアホースの内径が細いか、長すぎる場合は、打ち込み力が低下します。

コンプレッサ・エアホースの保管・点検

- ・ 作業後は必ずコンプレッサのタンク内の水抜きをしてください。水がたまった状態で使用されますと、本機的能力が低下するばかりでなく、故障の原因になります。
- ・ エアホースは熱 (60 °C 以上)、薬品 (シンナー、強酸、強アルカリなど) および傷つけやすいものから保護するようにしてください。

使い方

ピンネイルの装てんについて

⚠ 警告

ピンネイルを装てんする際は、必ずトリガをロックしてエアホースをはずしてください。

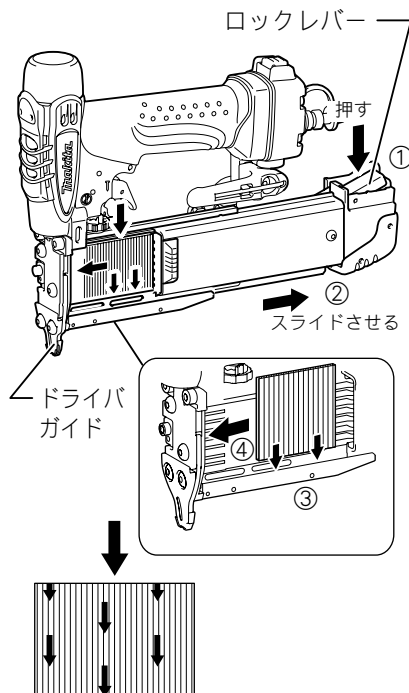
- ・ 誤って本機が作動すると、事故の原因になります。

⚠ 注意

ピンネイルを装てんした状態で不用意にマガジンを開かないでください。

- ・ 特に高所での作業時にピンネイルが落下すると事故の原因になります。
- ピンネイルの向きに注意してください。
- ・ ピンネイルの向きを間違えるとドライバの摩耗を早めるのと、その他の部品を破損する場合があります。

- ・ トリガをロックします。
- ・ エアホースをはずします。
- ・ ロックレバーを押してマガジンを開きます。(①②)
- ・ ピンネイルをマガジンに押し当て、溝の奥までしっかりと入れます。(ピンネイルの向きに注意してください。)(③)
- ・ その状態でピンネイルをドライバガイドの奥までしっかり押し込みます。(④)
- ・ マガジンをもとに戻し、ロックレバーを掛けます。



注

- ・ 指定以外のピンネイルを使用しないでください。ピンネイルの連結が変形したものは使用しないでください。ピンネイルがつまり、故障の原因になります。

使い方

空打ち防止機構について

- ・ ピンネイルの残りが 16 ～ 17 本になると空打ち防止機能が働き、ピンが打てなくなります。この場合、ピンネイルを追加装てんすれば、続けて打ち込みができます。

注

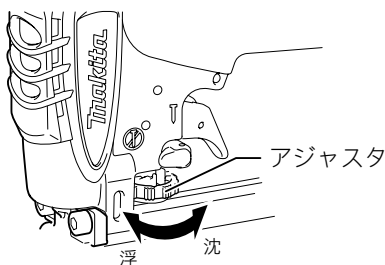
- ・ 空打ち防止機構が働いた直後に本機に残ったピンネイルと異なるサイズのピンネイルを打つ場合には、マガジン内に残ったピンネイルを取りはずしてください。

打ち込み深さ調整について

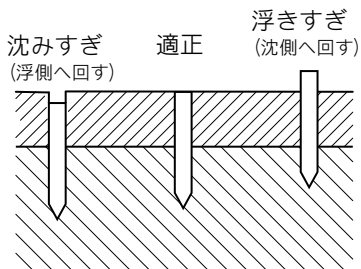
⚠ 警告

打ち込み深さ調整をする場合は必ずトリガをロックし、エアホースをはずしてください。

- ・ 誤って本機が作動すると、事故の原因になります。
- ・ アジャスタを回して調整します。



- ・ アジャスタを回転させて、打ち込み深さを調整してください。打ち込み調整幅は 1.5 mm です。





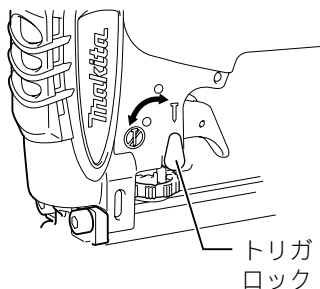
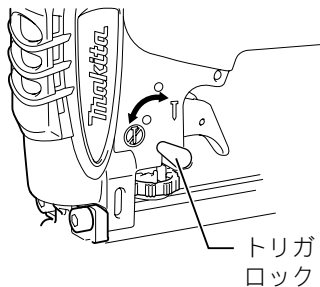
使い方

トリガロックの操作方法

⚠ 警告

ピンネイルを打つ時以外は、必ずトリガをロックしてください。

- ・ 誤って発射された場合に事故の原因になります。
- ・ 本機にはピンネイル打ち作業をしていないとき、誤った操作による事故を防ぐために、トリガロック機構を装備しています。トリガを固定し、ピンネイルを発射できない状態にする機構です。
- ・ トリガロックをロック  の位置にセットすると、トリガが固定されます。
- ・ ピンネイルを打つときは、トリガロックをフリーの  位置にしてください。
- ・ 作業時以外はトリガを固定して、エアホースをはずしてください。



使い方

フックについて

⚠ 警告

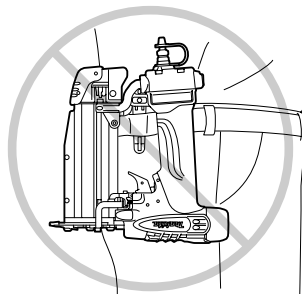
フックの位置を変える場合や、使用の際は必ずトリガをロックし、本機からエアホースをはずしてください。

- ・ 誤って本機が作動すると事故の原因になります。

フックを腰のベルトなどにかけないでください。

- ・ フックがはずれて本機が落下した場合、誤作動する恐れがあり、事故の原因になります。

- ・ フックを利用すれば本機を一時引っかけておくのに便利です。
- ・ 本機に取り付けてあるフックは左右どちらにも取り付けることができます。
- ・ フックを取り付けているネジをはずし、フックの位置を変更して、ネジを締め直してください。



ノーズアダプタの使い方

⚠ 警告

ノーズアダプタ脱着の際は必ずトリガをロックし本機からエアホースをはずしてください。

- ・ 誤って本機が作動すると事故の原因になります。

- ・ 化粧板等にピンネイルを打つ際、コンタクトアームの先端で傷を付けたくない時はコンタクトアーム先端にノーズアダプタを取り付けてください。

使い方

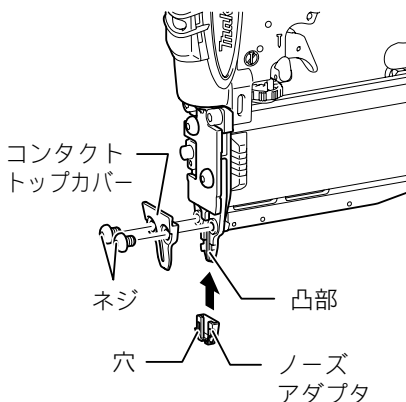
ノーズアダプタの取り付け方法

⚠ 警告

ノーズアダプタ脱着の際は必ずトリガをロックし本機からエアホースをはずしてください。

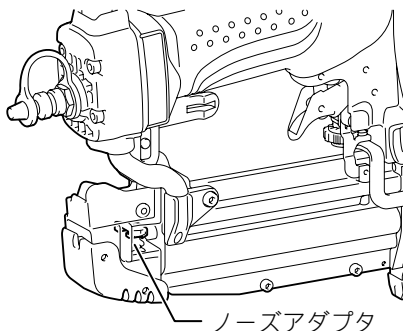
- ・ 誤って本機が作動すると事故の原因になります。

- ・ コンタクトトップカバーを固定している2本のネジを六角棒レンチ3ではずしてください。
- ・ コンタクトアームの凸部にノーズアダプタの穴が入るように取り付けてください。
- ・ 2本のネジをしっかりと締めてください。

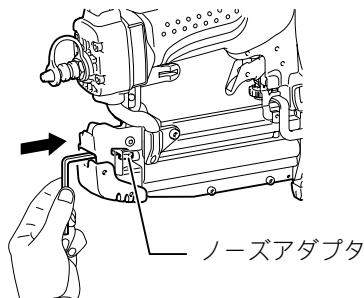


ノーズアダプタの保管

- ・ ノーズアダプタを使用しないときは、スライドドア後方のホルダに収納してください。
- ・ 図のようにスライドドアを少し開いた状態でホルダにセットし、スライドドアを閉じます。合計2個収納できます。



- ・ ノーズアダプタを収納場所から取りはずす際は、スライドドア後方から付属の六角棒レンチ3で押し出すと簡単にはずせます。



使い方

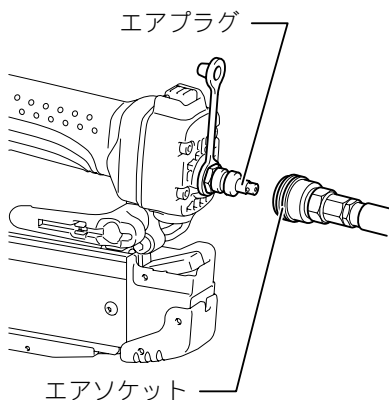
エアホースの接続

⚠ 警告

エアホースをつなぐときは、トリガに指をかけないでください。

- ・ 誤って発射された場合に事故の原因になります。

- ・ トリガをロックし、本機のエアプラグにエアホースのエアソケットを差し込んでください。



使い方

エアダスタの使い方

⚠ 警告

エアダスタを使用する時は必ずトリガをロックしてください。
エアダスタ吹出口を人に向けたり、手足を吹出口付近に近づけたりしないでください。

・ 誤って吹き出した場合、事故の原因になります。

近くに人がいないことを確認してから使用してください。

・ 吹き飛ばしたホコリや木屑などがあたりケガをする原因になります。

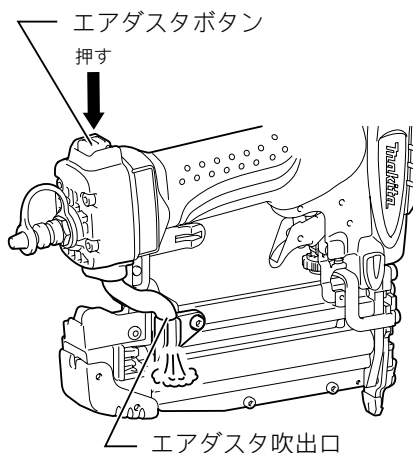
エアダスタボタンを押したまま、エアホースをつないだり、はずしたりしないでください。

エアダスタを使用すると一時的に打ち込み力が低下する場合があります。

エアコンプレッサの圧力が回復してから作業を始めてください。

注油直後にエアダスタを使用すると、オイルがエアダスタ吹出口より霧状に飛び散る場合があります。油がかかっても支障のない所で試してから作業してください。

エアダスタを使用すれば、ホコリや木屑を吹き飛ばすことができます。



使い方

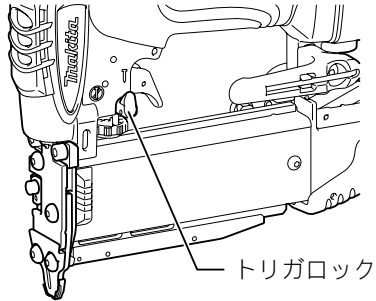
打ち込み方法

⚠ 警告

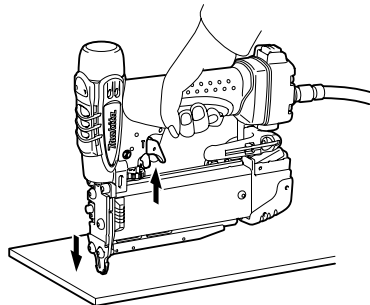
必ず射出口を材料に当ててからトリガを引いてください。

・ 誤って発射した場合に、事故の原因になります。

- ・ トリガロックをフリー（ ← ）位置にセットしてください。



- ・ コンタクトアームの先端を、材料に押し付けてください。
- ・ トリガを引いてください。



材料に押し付けてからトリガを引く

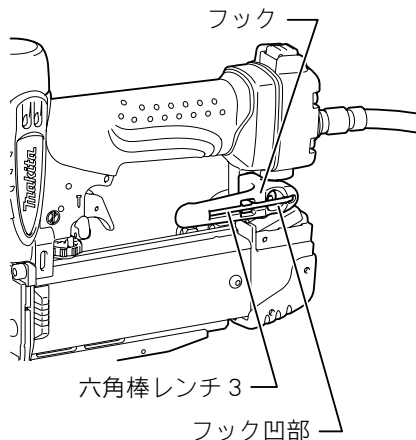
使い方

ピンネイル詰まりの直し方

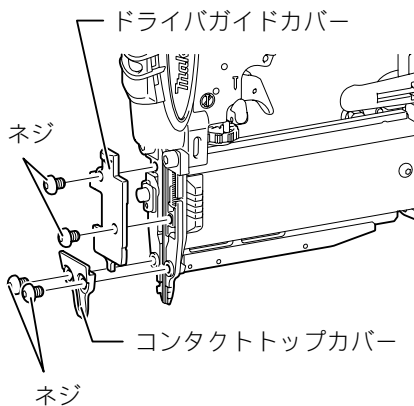
⚠ 警告

作業に入る前にトリガをロックし、本機からエアホースをはずしてください。

- ・ 作業に入る前にトリガをロックしエアホースがはずしてあることを確認してください。
- ・ マガジンのスライドドアを開き、マガジン内のピンネイルを取り出してください。
- ・ フックから六角棒レンチ3の短い方の先端を押し上げるか、フックの凹部より指でつまみ六角棒レンチ3を取りはずします。



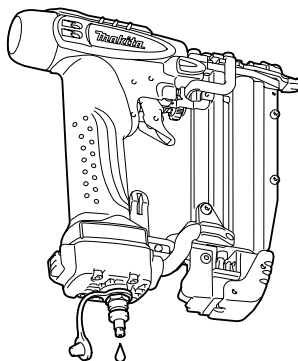
- ・ コンタクトトップカバーを固定している2本のネジを六角棒レンチ3で取りはずしてください。
- ・ ピンネイルの案内溝が露出するので、詰まったピンネイルを取り除いてください。
- ・ 詰まったピンネイルが取り除けない場合、さらにドライバガイドカバーを固定している2本のネジを六角棒レンチ3で取りはずし、詰まったピンネイルを取り除きます。



保守・点検について

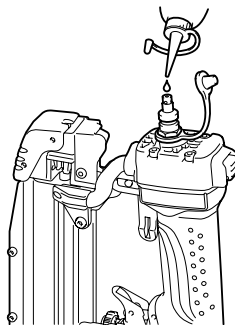
①水抜きを行う

本機のエアプラグをしばらく下に向け、本機内部に残っている水分をできるだけ除去してください。



②オイルを注油する

本機に付属している油サシ（タービン油 JIS 2 種 ISOVG32）で 2～3 滴（約 1 mL）エアプラグより注油してください。指定外のオイルを使用すると、故障の原因となります。

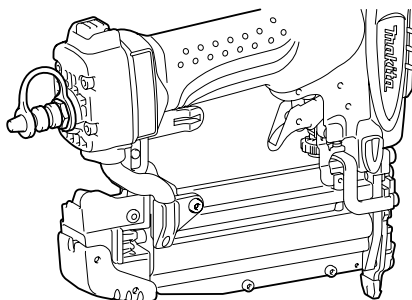


③本機の清掃

本機が、埃・木屑・砂などで汚れている場合は、エアダスタで清掃してください。

④エアプラグキャップの使用

本機を使用しない時は、本機内部に異物（ゴミ・埃）が入らないように、エアプラグキャップを装着してください。



⑤作業後の保管

プラスチックケースに収納し、直射日光の当たらない場所に保管してください。

保守・点検について

本機のお手入れ

- ・ 乾いた布か石けん水をつけた布できれいに拭いてください。

注

ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコール等は変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさないで、必ずお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。

882507-6

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)